

# 伝えよう被災地のようす、広げよう支援の輪

4/1～4日 3県連を訪問



4月3日、岩手・陸前高田民商の役員会に参加させていただきました。「事務所は流され、事務局員2人も行方不明、途方にくれている」と役員さん。会員の死亡・行方不明は現在14～15人。携帯電話も通じにくくガソリン不足が会員の安否確認を妨げていました。

しかし、集まって話し合い、プレハブの仮事務所を完成させ、いよいよ、会員訪問です。「商工新聞を配って安否確認をしたい。会員のところへ今日からでも歩こうと思っている」と、涙をながしながらの発言。

粟田常任理事は、「ムチャも言うてもいいんです。例えば借金棒引きなど、業者や住民のつばやきを認めさせていくことが大事なんです」と。また、土谷副会長は、「16年前、全国の仲間からたくさんの勇気をもらった。生きる希望を持つ、地域を元に戻す。集まって話し合い、廃墟のなかから道なき道を切り開き、生きる権利を守っていこう」と、役員さんを励ましました。

## 宮城・岩手・福島 激励訪問

- 4月1日 午後10時半 兵商連発
  - 4月2日 午前11時 宮城県連
  - 午後2時半 石巻民商
  - 午後4時半 女川総合体育館
  - 午後9時過 岩手水沢で宿泊
  - 4月3日 午前9時半 大船渡民商
  - 午前10時半 陸前高田民商
  - 午後4時半 福島県連
  - 4月4日 午前5時 兵商連着
- 走行距離 約2200キロ



岩手・大船渡民商で支援物資を手渡し、土谷副会長と、民商事務局長ががっちり握手。ガソリンの供給もでき出し、いよいよ、本格的な活動が始まります。

宮城・石巻民商（写真下）では、20人近くの仲間が亡くなりました。事務所には1m50cmの泥水が押し寄せ、コピー機、パソコンなども、水につかりました。事務所は会員、役員できれいに片づけられていました。集まって話し合い、行動をと、役員会がその日開かれると聞きました。

# 支援物資は、岩手、福島、宮城の各県へ届けてきました！



震災から4週間目に入りました。被災地は雪が舞う寒さが続いています。阪神・淡路大震災を経験した私たちができることは、全会員へ被災地の仲間の状況を伝え、運動への参加を呼びかけることです。

支援募金や商工新聞拡大、支援物資を集める行動など、支部を中心にすべての会員に訴えることが大切です。岩手県連は全商連ホームページで不足している物資の提供を呼びかけています。早速、垂水民商から、「婦人部で1000枚の土嚢袋を購入し岩手に送りたい」と連絡がありました。「心ひとつに」全県が団結し、奮闘しましょう。

お願い  
今、必要な支援物資は全商連文書で連絡しています。各民商で自主的に送付を計画してください。なお、物資の送付FAXは県連へ送付してください。

集まった募金は、随時、兵商連に送ってください。

## 全商連緊急情報を読み合わせよう！

このニュースは県連三役、民商事務所のみを送付しています。県連役員・民商役員への送付はお願いします。